

プログラム名 (40字以内)	モルディブは万華鏡: 環礁国で学ぶ気候変動・観光開発・国際関係・イスラム文化		
団体名/所属	新領域創成科学研究科・国際協力学専攻		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接
募集人数	6人	選考対象	大学院学生を含まない
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	英語による解説が理解でき、モルディブ国立大学(MNU)で学生と交流できる程度の英語力を有すること。		
活動期間	2025/9/6(土)～9/14(日)	主な活動予定場所	モルディブ共和国: 首都マレ、人工島フルマーレ、ビリンギリ島、離島リゾート
プログラム実施の目的	環境問題と持続可能な都市開発への実践的理解、グローバルな視点の涵養、国際関係の実態把握、キャリア形成への寄与。		
具体的な内容(800字程度)	本体験活動プログラムでは、国土のすべてが珊瑚礁で構成される環礁国、モルディブを訪問します。モルディブの平均標高は約1.5メートルで、地球温暖化に伴う海面上昇に対して極めて脆弱な状況にあります。モルディブ政府は気候変動への適応策として、首都マレ近郊に人工島「フルマーレ」を建設しました。本プログラムでは、フルマーレの市街地を実際に歩き、フルマーレを建設・運営する国営企業(HDC)からの解説を受けることで、気候変動問題や島嶼国の環境問題、持続可能な開発目標(SDGs)に呼応する社会インフラとしての持続可能な都市開発への取り組みについて、実感を伴って学ぶことができます。 モルディブはイスラム教社会であり、観光業が基幹産業です。モルディブ国立大学(MNU)で学ぶ大学生との交流を通じて、日本とは異なる文化や価値観への理解を促進すると共に、環境保全と観光による経済発展の両立について深く考察する機会を得ます。このような異文化体験は、グローバルな視点を養う上で極めて重要な機会です。 このプログラムは、MNUでのセミナーや関係機関への訪問を通じて、国際政治と地政学的な視点からも重要な学びをもたらします。インド太平洋地域における中国・インド・日本の影響力をめぐる競争の実態を知るとともに、気候変動や海洋安全保障といった非伝統的安全保障課題の現状について体感的な理解を得ることができます。近年、地政学的な緊張が高まる中で、小国であるモルディブが直面する外交的・安全保障的な課題を理解することは、多極化する国際関係についての洞察を深める上で非常に有意義です。 さらに、このプログラムはキャリア教育としての重要な側面も持ち合わせています。国際機関や、国際的な観光産業の現場であるリゾート島を訪問することで、海外での就労を自身のキャリアパスの選択肢として具体的にイメージすることができるでしょう。これは将来の進路選択に向けた貴重な経験となります。 このプログラムの詳細は以下のウェブサイトで紹介ビデオを御覧下さい: https://gif.or.jp/information/kaleidoscope_maldives		
【総額】参加するための費用	280,000円		
【内訳】参加するための費用 (宿泊費)	100,000円(7泊、朝食代を含む)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	150,000円(国際線航空券代金、モルディブ国内交通費)		
【内訳】参加するための費用(その他)	30,000円(博物館入場費、リゾート島入場費)		
奨励金額(予定)	80,000円		
備考	本プログラムの立案・実施には「公益財団法人 日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団(理事長: 中山幹康 東京大学名誉教授)」が参画する。 本プログラムは在日モルディブ共和国大使館の全面的な協力のもと実施される。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	繁栄する島国、モルディブ 前編・後編(JETROIによる紹介) https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2023/0c5a288d82b55833.html https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2023/062380f230915a4a.html 安全の手引き(令和6年1月版)在モルディブ日本国大使館 https://www.mv.emb-japan.go.jp/files/100628716.pdf		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者 (応募団体)の参加の有無	参加する		